第39回（2023年度）若手研究者のための健康科学研究助成受贈者一覧

a．指定課題（1件、300万円を助成）　（五十音順・敬称略）

氏　　名	所　　属	研究テーマ
吉田　　司	医薬基盤・健康・栄養研究所 国立健康・栄養研究所	地域での継続につながった介護予防介入研究のプログラム検証

b．一般課題（12件、一律100万円を助成）

氏　　名	所　　属	研究テーマ
浅原　亮太	産業技術総合研究所 人間情報インタラクション研究部門	一過性の有酸素運動が脳・認知機能に与える効果と加齢・性差の及ぼす影響
池田　陽介	愛媛大学医学部附属病院 糖尿病内科	２型糖尿病原因遺伝子レジスチンSNPを標的としたサルコペニア肥満予備群の早期抽出と個別化予防戦略
江島　弘晃	長崎国際大学 人間社会学部	不活動がもたらす不安・記憶障害における過酸化脂質制御の役割解明
大藪　　葵	京都府立大学大学院 生命環境科学研究科	運動マウス由来の血漿投与は、筋萎縮モデルマウスの筋量や筋機能を改善するか? ―筋萎縮抑制効果をもつエクサカインの探索と、血液伝播を介した運動による筋萎縮抑制効果の検証―
越智　元太	新潟医療福祉大学 健康科学部	運動による実行機能低下の神経機構の解明 ―脳内乳酸濃度の役割―
喜屋武　享	京都大学大学院 医学研究科	包括的学校身体活動介入による青少年の心身の健康に対する効果検証
小林　天美	ハーバード大学 医学部	運動による認知症発症予防効果に関わるミトコンドリア機能調節因子と機序の解明
鄭　　仁赫	東京大学 総合文化研究科	高齢者の認知機能の向上・うつ病予防を目指したeスポーツにおける新しいトレーニング方法の開発
竹中　悠真	神奈川県立保健福祉大学大学院 保健福祉学研究科	運動イメージの客観的評価法の確立と新規運動イメージ介入法の効果検証
三浦　　征	福岡大学 スポーツ科学部	エネルギー摂取量の増加が筋肥大を誘導するメカニズムの解明 ―臓器連関の視点からの解析―
柳岡　拓磨	広島大学 人間社会科学研究科	レジスタンス運動を用いたエクササイズ・スナックは、若年者・高齢者の生活習慣病リスクを低下させるか？
山下　真里	東京都健康長寿医療センター研究所 自立促進と精神保健研究チーム	介護予防のための集団認知行動療法を応用した運動プログラムの開発 ―予備的ランダム化比較試験―

（所属は応募時のものを記載）